



渋谷区 卒業制作

Lions

Look In On Shibuya

Vantan × 東急

目次

- 01 メンバー紹介
- 02 企画背景
- 03 App概要
- 04 ユーザー体験
- 05 Lionsの今後



1.メンバー紹介



湯澤駿也

高等部/3年生/Rubyコース
担当：PM



関琢磨

高等部/3年生/Swiftコース
担当：プログラマー



山本流斗

高等部/3年生/Flutterコース
担当：デザイナー



佐藤藍斗

高等部/3年生/Javaコース
担当：企画

2. 企画背景

渋谷について全く詳しくない企画開発者一同

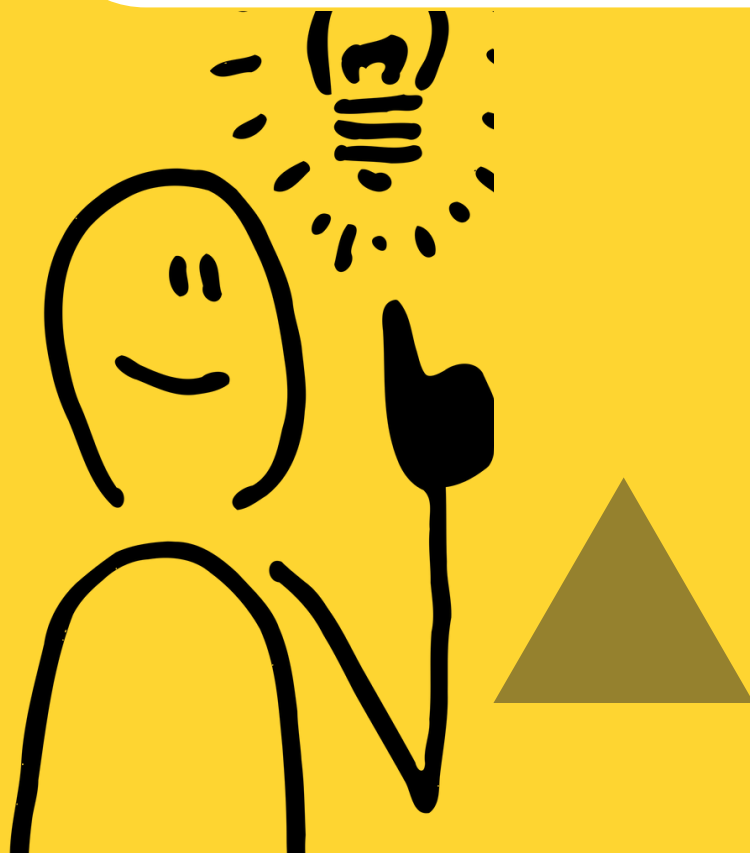
Q.自分たちのような渋谷情報弱者
を渋谷好きにする方法って？

A. 渋谷を知って貰い、わからないを
なくしていけば良い。



Q. 今の渋谷を多角的に見るための
アプリとは何か？

A. ユーザの使用用途の定まった、
SNSによる渋谷区の毎日の観察を行
わせる。



3. App概要

渋谷の色々な面を発見してほしい

- 01 公式が出す毎日の題材に沿って
- 02 渋谷の写真を投稿して
- 03 ランキングを競い合いつつ
- 04 渋谷の魅力を多面的に見てほしい



3.1 ターゲット：調査分析

ターゲット

- ・ 渋谷を日常的に活用する10~50代
- ・ 渋谷に詳しくない全ての人

市場・競合調査

- ・ 渋谷区はさまざまな店、技術、業界が集まる熱い街だけど、情報が多すぎて全貌が見えない。。

競合：X(旧Twitter),instagram,Bereal 等

- ・ Twitter(現X) :
2000年代半ばから積み上げた信頼、当時少なかった短文でのリアルタイムな情報共有を可能としました。
- ・ instagram :
写真を中心にした「視覚的体験」を提供するプラットフォームが少なかった時代を加味した。装写真共有に特化し、twitterで生まれたハッシュタグの概念を写真共有に応用した。他シンプルなUI,UX等。

差別化

X(旧Twitter)

- ・ 渋谷へのランドマークとの直接のつながり
- ・ 渋谷区に特化させ、リアルタイム性のある投稿を体験できるかもしれない状況というのを近くにする

instagram

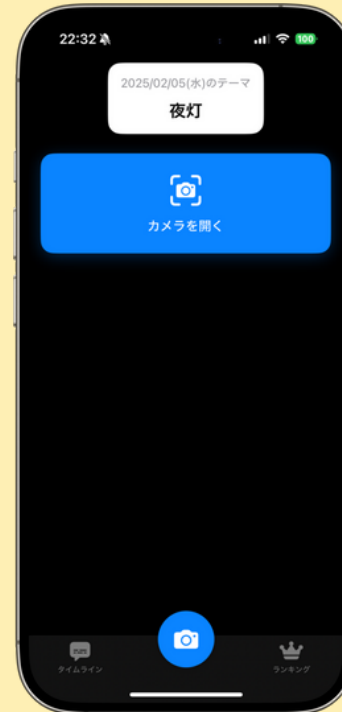
- ・ 題材という断定されたハッシュタグの中での魅力発見
- ・ アピール力において、渋谷というITやアパレルが集まる街という特性を独占に近い形で提供できるのではないか



3.2 機能概要

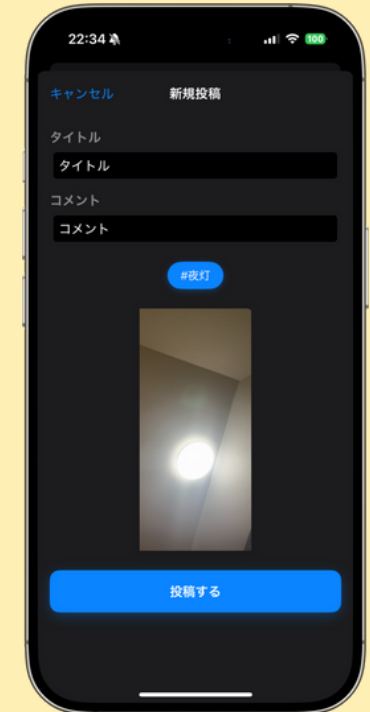
題材通知

毎日、渋谷の魅力を発見できるようなお題をアプリ内にて通知してくれる。



画像投稿

題材通知からきた題材を、自分なりの解釈をして、撮影、画像投稿を行う。



タイムライン

他ユーザの投稿を確認、いいねやこのアプリ独自のリアクションをつけられる。



ランキング

投稿毎における“いいね”、“閲覧数”を算出し、人気の投稿を確認可能。



3.3 開発環境

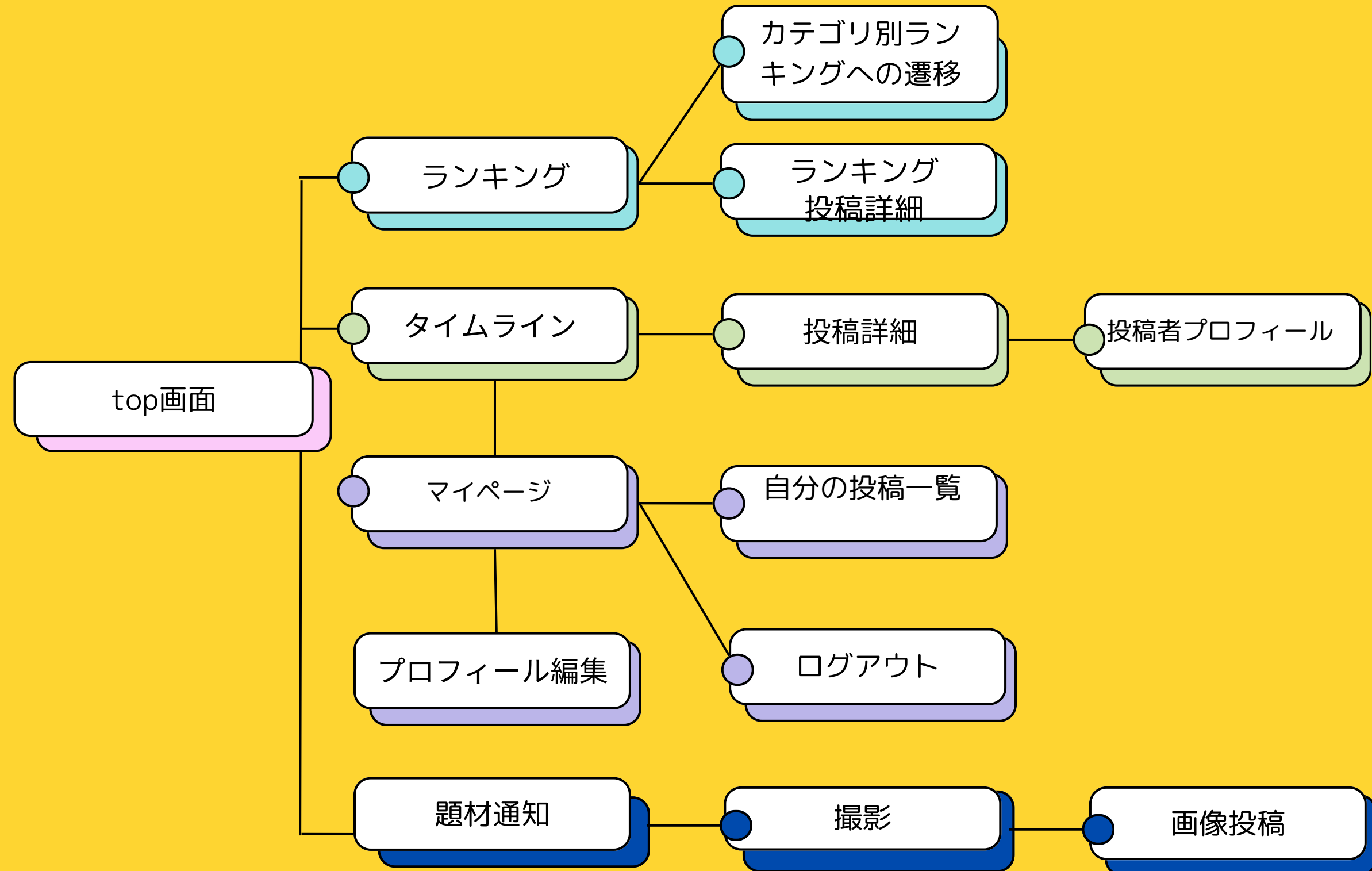
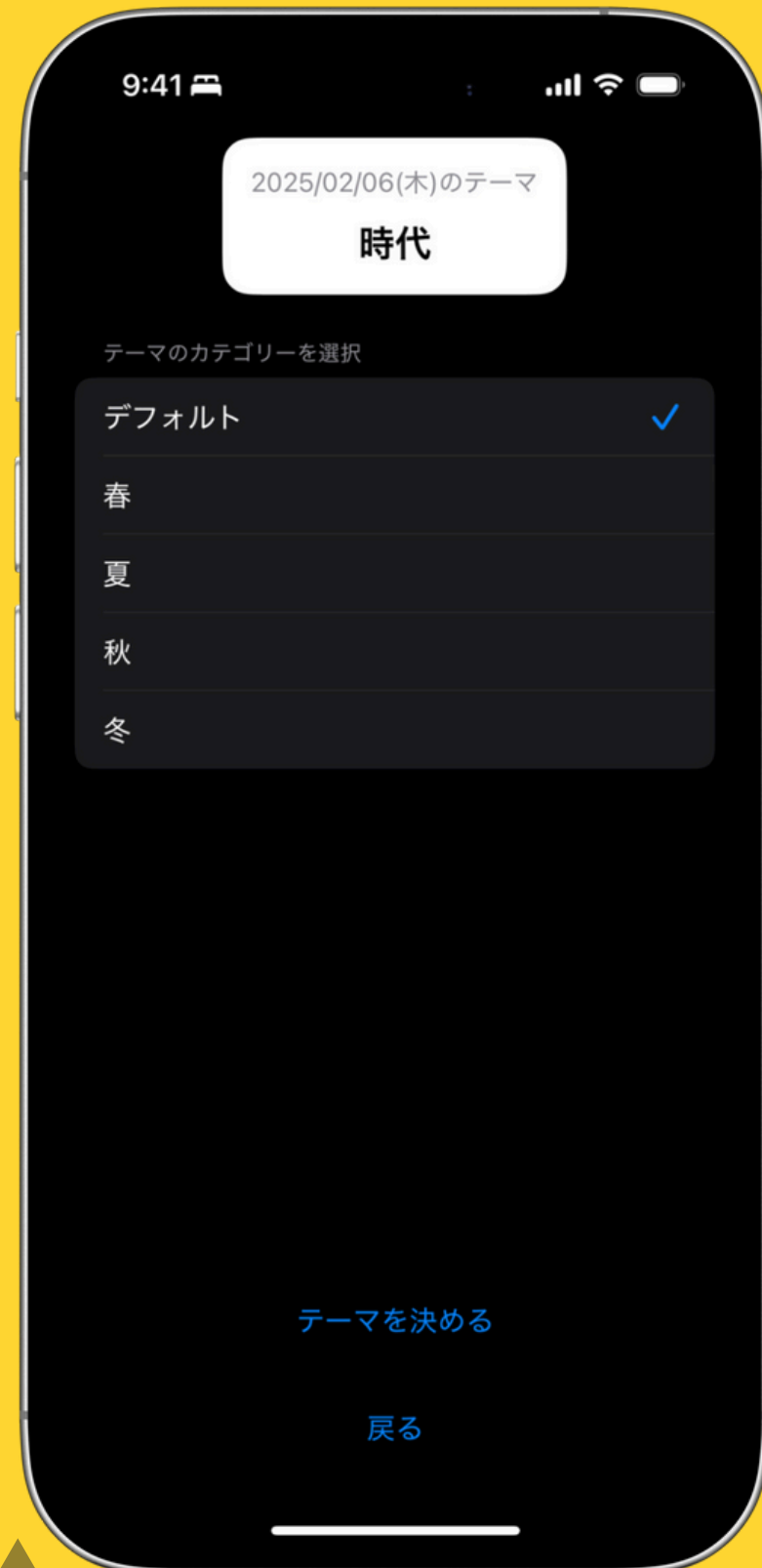


- ・ firebase firestore(DBとして使用)
- ・ firebase auth(ユーザー認証機能に使用)
- ・ firebase storage(画像保存に使用)



- ・ SwiftUI(アプリ全体に使用)
- ・ Swift/UIKit(カメラ機能に使用)

3.4 開発環境 遷移図



4.1 この先の動き ユーザー体験

イベントについて

- 渋谷とのつながりを強くする企画
- 定期開催で渋谷の魅力にフォーカス
- アプリ機能との連携で高まるライブ感

ユーザーからの意見、公式からの一押しを反映しやいオリジナルの機能。

ユーザー体験 目指すもの

- 撮影によって知っていく新たな一面
- 画像投稿によって蓄積される思い出
- 他ユーザの投稿によって見える一面
- ランキングによって芽生える闘争心

このアプリによって、ユーザーが得るものは日常に足りない、刺激と驚きです。

今後のイベントイメージ



4.2 ユーザー還元について

イベントによるポイント還元

- 01 イベントへ参加をする
- 02 投稿やランキング入賞等の手段で
- 03 ポイントを獲得ドンドンしていく
- 04 イベントでのポイント使用！！



5.2 Lionsの展望

マネタイズについて

1. 広告モデルやプレミアムサービス
2. **持続可能**なビジネスモデルの構築
3. 広報店舗との連携による**O2Oモデル**をメインとしたイメージ。

項目3のロイヤルティプログラムを重要視している現状、既存SNSのマネタイズ手法の模倣の延長線上に近い。

実装したい機能

- ・ **ユーザーによる題材変更**
イベントとして実装想定、ユーザー同士の絡みを増やす試み。
- ・ **マップ上での歩行軌跡の閲覧機能**
自分の写真撮影のスポットを中心にした、自身の撮影ロードマップを確認できる機能、ユーザーの思入れを反映させる機能。

